

まちのキラリびと



敦賀市を世界に発信できる映像クリエイターになりたい

私たちは、敦賀市を拠点に活動しているYouTuberグループのAithra（あいとら）です。あいとらとは、ギリシャ語で「晴れた空」という意味です。2年前に敦賀出身の幼馴染6人でスタートし、現在は3人で活動しています。

YouTuberとなったきっかけは、メンバーと一緒に日本各地を回り、アメリカ縦断もした旅行です。壮大な旅をする度に動画を撮って、YouTubeにアップしていました。現在はそうした経験から、趣味が高じて、映像で人に感動を与えられる動画作りを志し、活動しています。

敦賀は人とのつながりを感じられる場所です。学生時代に一度県外を経験してそう強く感じ、活動を始めて改めて実感しています。また、応援してくれるリスナーの存在もとても大きいです。

最近では、映像制作の仕事との両立で撮影本数は減っていますが、時間の許す限りアップしていきたいと思っています。

今後は、まず「福井でナンバーワンの映像クリエイター」を目標に頑張りたい、そして、地元敦賀の魅力に世界からスポットが当たる一助となるように今後も発信していきたいと思っています。

YouTubeの視聴やチャンネル登録はこちらから。



まちの宝を発見！ つるが歴史遺産



案内人

学芸員 笠原 朋与

先史の人々の交流が
目に見えます

▼吉河遺跡から発掘された勾玉・管玉
(福井県埋蔵文化財調査センター提供)



吉河遺跡・大町田遺跡

基本情報

年代：弥生時代中期～末期

所在地：吉河・坂ノ下



▲大町田遺跡から発掘された土器

弥生時代の敦賀の集落

敦賀平野の東側には、弥生時代の遺跡が複数発見されています。国道8号線敦賀バイパス開発時に発掘された吉河遺跡では、たくさんさんの堅穴式住居とお墓が一緒にあった集落が見つかっています。ここでは装飾品の生産が行われていました。勾玉・管玉や、それらの素材となる加工途中の石材、石の錐や鋸などの工具が見つかっています。もう一つ紹介する遺跡は、中郷公民館建設時に発見された大町田遺跡です。ここは弥生時代の終わりから古墳時代初めにかけて栄えた集落でした。「鳥の格好をした2人の人物」が描かれた土器が見つかると、当時の祭り（祈り）の様子を描いたのではないかと考えられています。

吉河遺跡の玉飾りの素材は碧玉や翡翠で、主に新潟や富山で産出される緑色の石です。そして大町田遺跡では近江、東海地方の特徴的な文様を持った土器が見つかっています。今も近畿と北陸の中継地である敦賀ですが、北前船や鉄道で交易が盛んになる千年以上前の時代に、すでに活発な地域間交流があったようです。

「遺跡」自体は、なかなか見る機会はありませんが、遺跡から出土した資料は博物館や文化振興課分室で展示されており、かつての生活や交流の様子を教えてください。

広報担当者のつばやき

新年明けましておめでとうございます。昨年はまさに新型コロナウイルスに翻弄され続けた一年で、日常生活も大きく様変わりしてしまいました。ワクチンの開発や接種などの明るい話題も出てきていますので、今年こそ一日も早く元の生活に戻れるよう期待しています。(K)

新年明けましておめでとうございます。皆さん、年末年始はどのように過ごされましたか。コロナの影響により、家でゆっくりされた方が多いのではないのでしょうか。と言ってもこの記事を書いている現在は2020年のクリスマス。これから年末年始を迎える私は、家の中で楽しく過ごす方法を模索中です。(M)